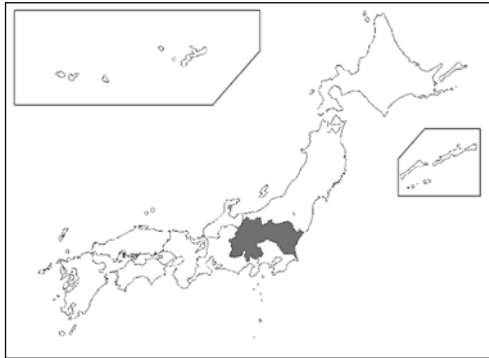


(3) 北 関 東



北関東地域では、景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調が続いている。

- ・ 鉱工業生産は弱含んでいる。
- ・ 個人消費は持ち直しの動きがみられる。
- ・ 雇用情勢は着実に改善している。

(注) 下線を付した箇所は、前回からの変更のあった箇所を表す(は上方に変更、 は下方に変更)

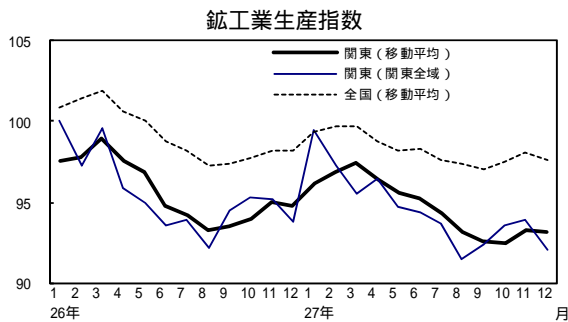
前回調査からの主要変更点

	前回(平成27年11月)	今回(平成28年2月)	
景況判断	弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	一部に弱さがみられるものの、緩やかな回復基調	
個人消費	持ち直しの動きがみられるものの、足踏み	持ち直しの動き	
住宅建設	増加	大幅に減少	

1. 生産及び企業動向

(1) 鉱工業生産は弱含んでいる。(関東全域)

輸送機械は自動車用エンジン、懸架制動装置部品等を中心に減少。電気機械はセパレート型エアコン、電力変換装置等を中心に増加。情報通信機械はネットワーク接続器等を中心に増加。生産用機械は国外向けで数値制御ロボットの受注があったこと等から増加。



(備考) 1. 22年=100、季節調整値。最新月は速報値。
2. 全国及び関東の太線は後方3か月移動平均。

域内主要業種の動向(季節調整値、前期(月)比)(%)

	付加価値 ウェイト	生産				
		7~9 月期	10~12 月期	10月	11月	12月
輸送機械	18.6	3.5	1.0	2.1	0.2	3.0
化学	15.1	3.3	-	0.9	0.5	-
電気機械	9.3	3.3	2.3	0.7	1.9	2.8
情報通信機械	6.2	15.3	6.0	6.9	19.6	2.1
生産用機械	6.1	12.9	2.2	15.6	2.2	1.4
鉱工業	100.0	2.8	0.6	1.2	0.4	2.0

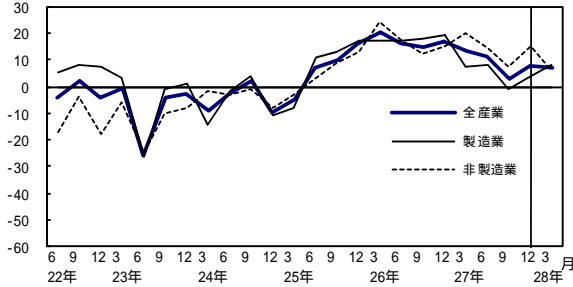
(備考) 1. 地域における付加価値ウェイトの高い5業種。

2. 10~12月期、12月は速報値。化学は速報値では公表されていない。

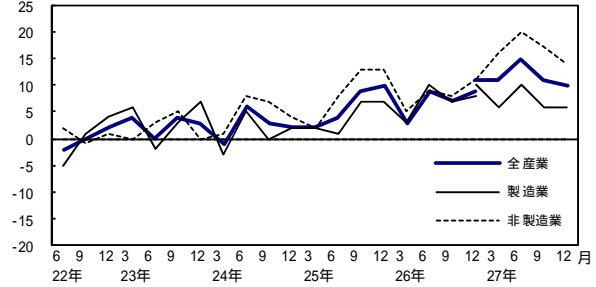
(2) 企業動向の業況判断は「良い」超幅が拡大し、資金繰り判断は「楽である」超幅が横ばいとなっている。

企業短期経済観測調査及び中小企業景況調査

(%ポイント) 企業短期経済観測 [業況判断]



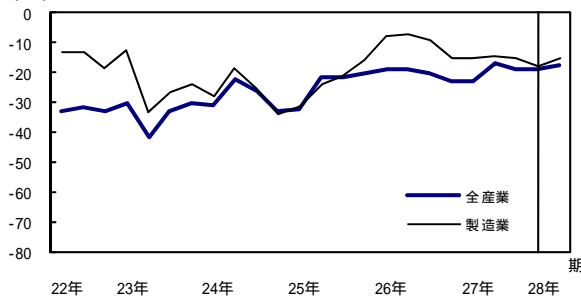
(%ポイント) 企業短期経済観測 [資金繰り判断]



(備考)「良い」-「悪い」回答者数構成比。28年3月は予測。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

(備考)「楽である」-「苦しい」回答者数構成比。
26年12月は新・旧基準を併記。
日本銀行前橋支店管内。

(%) 中小企業景況調査 [業況判断、関東全域]



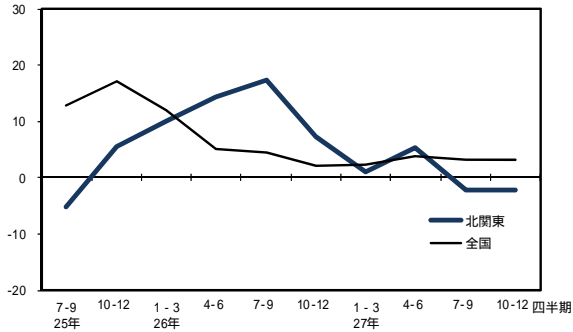
(備考)「好転」-「悪化」回答者数構成比。28年 は見通し。

景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [企業動向関連 (現状)]

「企業収益は現状維持もしくは増加傾向にあるが、季節商材などの個人消費に弱さが見られる (金融業)」などの回答がみられた。

(3) 設備投資の民間非居住用建設工事は減少している。

(%) 民間非居住用建設工事費 (前年同期比) の推移



企業短期経済観測調査 [設備投資 (12月調査)]

(前年度比、%)

	26年度実績	27年度鑑
全産業	7.5	4.8 (4.9)
製造業	21.2	0.7 (3.9)
非製造業	14.4	16.8 (7.4)

(備考) () は前回 (9月) 調査比修正率。

日本銀行前橋支店管内。

(3) 北関東

2. 需要の動向

(1) 個人消費は持ち直しの動きがみられる。

地域別消費総合指数 (RDEI (消費))

10月は前月比0.0%減、11月は同2.3%減、12月は同0.5%増となった。

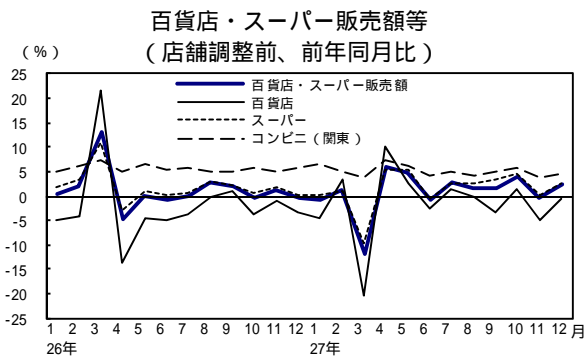
百貨店・スーパー販売額

百貨店は、10月は、「家庭用品」、「その他の商品」等の動きが良かったことから、前年を上回った。11月は、暖冬の影響により「衣料品」動きが鈍かったこと等から、前年を下回った。12月は、引き続き暖冬の影響により「衣料品」の動きが鈍かったこと等から、前年を下回った。スーパーは、「飲食料品」等に動きがみられたことから、前年を上回った。

景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [家計動向関連 (現状)]

北関東地域の家計動向関連DIは、43.8となり前月に対して横ばいとなった。

「雪国ながら雪がほとんどない年末年始であったため、近隣スキー場は1月中旬までオープンできず、周囲の宿泊施設も影響を受けている(観光名所)」など「やや悪くなっている」とする回答が増加した。



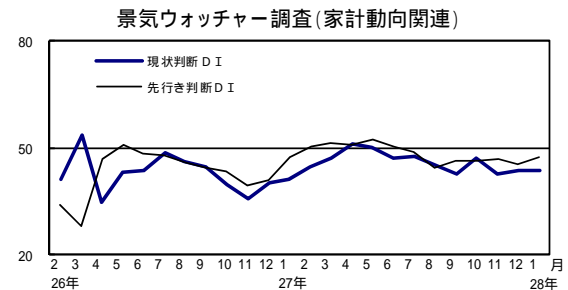
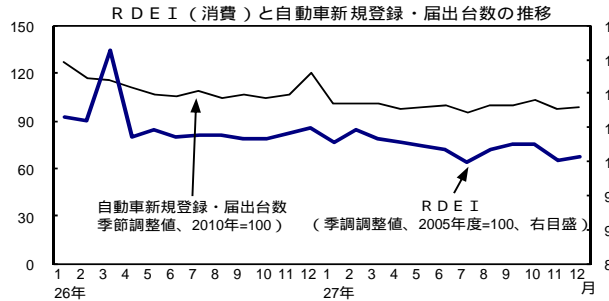
	27年10-12月	27年10月	11月	12月
RDEI (消費*1)	0.3	0.0	2.3	0.5
百貨店・スーパー(*2)	2.1	3.9	0.3	2.5
百貨店(*2)	1.5	1.4	5.1	0.7
スーパー(*2)	2.6	4.6	0.3	2.7
コンビニ(*2)	4.7	5.8	3.9	4.4
乗用車(*3)	8.7	1.8	7.0	16.5
(季節調整値)(*3)	1.9	3.6	5.6	1.5

(備考) 1. 季節調整済前期 (月) 比 (%)

2. 店舗調整前、前年同 (月) 期比 (新潟、静岡を含む)

コンビニは、関東全域

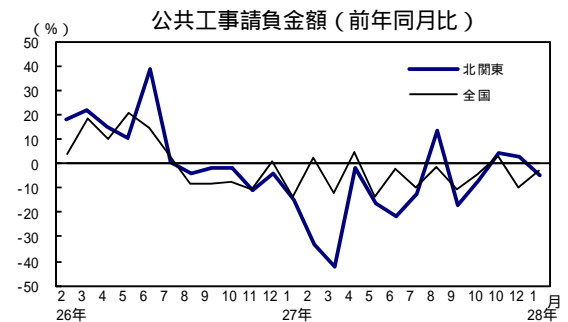
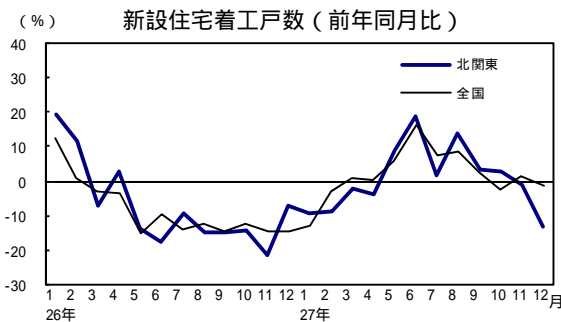
3. 乗用車は、新規登録・届出台数 (上段は前年同期 (月比 (%)))



(2) 住宅建設は大幅に減少している。

貸家が前年を上回ったものの、持家、分譲が前年を下回ったことから、全体では大幅に減少している。

(3) 公共投資は27年度累計で見ると前年度を下回っている。

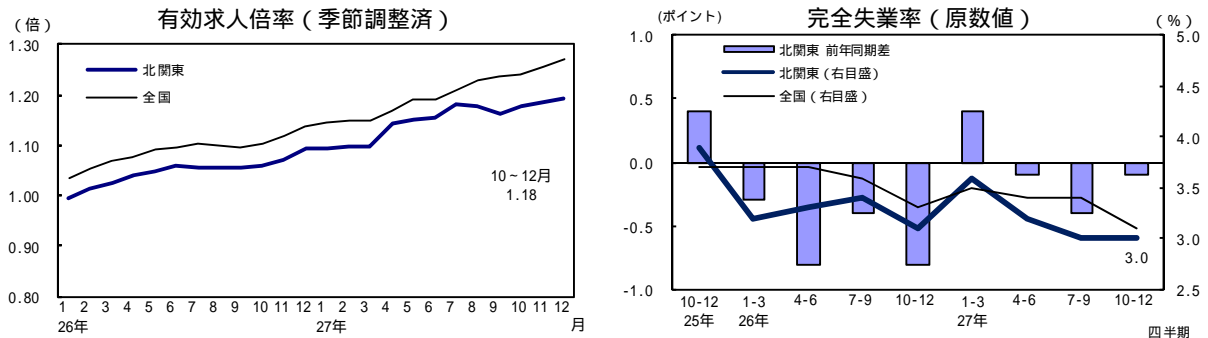


3. 雇用情勢等

(1) 雇用情勢は着実に改善している。

有効求人倍率及び完全失業率

有効求人倍率は上昇している。完全失業率は前年同期を下回っている。



景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [雇用関連 (現状)]

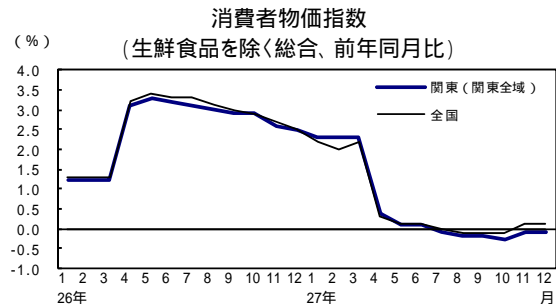
「前年に比べ、稼働率、客入りが非常に良い。3～4社、取引先に値上げ交渉をしているが、どの企業でも当社の置かれている状況を理解頂け、ある程度値上げに応じてもらえている (人材派遣会社)」などの回答がみられた。

(2) 企業倒産は、件数は減少しているものの、負債総額はおおむね横ばいとなっている。

(3) 消費者物価指数は、前年比の下落幅がおおむね横ばいとなっている。

企業倒産

	(件、億円、%)				
	27年1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	28年1月
倒産件数	146	116	130	120	48
(前年比)	29.2	0.9	15.6	14.9	7.7
負債総額	529	269	395	228	102
(前年比)	156.7	13.3	27.9	0.2	8.6



景気ウォッチャー調査 (1月調査結果) [合計 (特徴的な判断理由)]

<現状>

・今月の中ごろ天候が非常に悪くなり、雪が降ったため、客が出鼻をくじかれたような状態で、ほとんどの客が出て来なかった。販売が非常に悪い状況である (衣料品専門店)

<先行き>

・客の期末である3月を納期として、特に自動車の開発関連の案件が増加している。航空機関連の受注も堅調で、一部の部署では24時間対応で仕事をこなす必要が出てきている (一般機械器具製造業)

